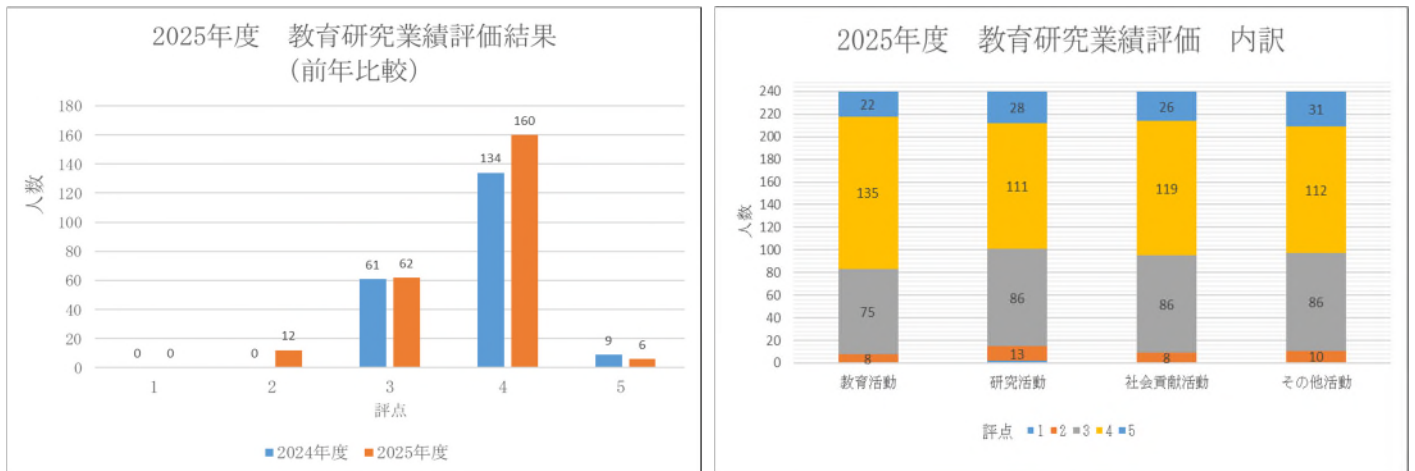


## 2025年度教育研究業績評価（活動対象 2025年度）の結果について

副学長 金政 祐司

2025年度の教育研究業績評価は、2024年度に引き続き、教育活動・研究活動・社会貢献活動・その他活動の4つの領域において、各教員により重点比率及び目標を設定したうえで、その目標に対する達成度に応じて所属長による5段階で評価を行った。

2025年度教育研究業績評価（活動対象 2025年度）についての結果を以下のとおり報告する。



左の表は教育研究業績評価結果における2025年度と2024年度を比較した棒グラフである。理工学部の開設に伴い、昨年度より教員数は36名増の240名となったが、引き続き4「優れている」・3「良好」の割合が高い。

右の表は教育研究業績評価における領域ごとの内訳である。

全体としては、4「優れている」・3「良好」の割合が高い結果となった。

活動領域毎の結果としては、

- Ⅰ.教育活動領域は、4「優れている」・3「良好」の合計が全体の87.5%となった。
- Ⅱ.研究活動領域は、4「優れている」・3「良好」の合計が全体の82.1%となった。
- Ⅲ.社会貢献活動領域は、4「優れている」・3「良好」の合計が全体の85.4%となった。
- Ⅳ.その他活動領域は、4「優れている」・3「良好」の合計が全体の82.5%となった。

今後も公正・公平な教育研究業績評価を行い、教育研究水準の向上につなげていきたい。

以上